



JAMCA ニュース

No.108

2021年1月1日

発行
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大塚町31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

編集事務局

自動車産業界に起きている決定的な変化



関東工業自動車大学校 理事長
全国自動車大学校・整備専門学校協会 会長
中川 裕之

新年おめでとうございます。

昨年度、我々は人類史上における決定的な歴史の転換点を経験することになりました。Covid19という感染症の問題は時間が解決してくれるはずですが、

そのことよりも、パンデミックをきっかけとして人類の価値観と文化に決定的な変化を呼び起こしたことに重要な問題点が潜んでいます。

人間のコミュニケーションが接触から非接触になり、欧米に至っては今まで、お互いの信頼感・敵ではないという宣言にも等しい「ハグ」が否定されたことにより暴動にまで発展し、「マスク」を否定すること等によって自分たちの文化を守ろうとしているのです。

自動車産業界に起きている決定的な変化を我々は見過ごしてはいけません。

1. テスラの時価発行額が世界のトップになった。

テスラの販売台数は36万台、フォルクスワーゲン・トヨタ・日産ルノーの合計は3,000万台以上、実に1/100にも満たない企業の時価発行額が世界のトップになった。

2. テスラがS&P500に組み入れられる。

S&P500とはインデックス投

資の代表格で、我々の年金・保険はこのインデックスで運用されているといっても過言ではありません。最も信頼性の高い指標の代表格であるがゆえに、その組み入れには極めて厳格な審査があるのです。その審査をクリアした事実は、マイクロソフト・アマゾンという世界屈指の企業として同等に評価され、その将来性も担保されていると思います。

3. ウーバー、リフトに代表されるライドシェア企業が、カリフォルニアの住民投票で勝ち、自動車産業界におけるギグエコノミー（インターネットを通じて単発の仕事を行う）の定着が一歩進み、人間の労働の仕組みも変化しました。従来の労働基準法では、ライドシェアのドライバーの確保が困難であった。しかし、ギグエコノミー法案が、ウーバー、リフトなどの企業の社会的進出を支援したことにより、従来型の「車」の使い方が変化してゆくことになります。

現代社会を金融主導の資本主義体制として捉えるならば、各国中央銀行を中心とする金融が、自動車産業界の将来をEV・自動運転・ライドシェアをベクトルとして決定づけていると解釈するのが自然であると思います。

我々、自動車大学校は確かに自動車産業界の一員ではありますが、わが国の将来を担う若者に夢と希望を与える教育機関であることを忘れてはいけません。

自動車産業界に今後、どのような変化が起きても不思議ではありません。いや、必ず何かが起こります。

その時の我々の社会的使命は、車両法に基づき、国民の生命と安全を守る国家資格を保有する若者を教育することであり、AIの進化による雇用の減少に対抗し若者たちが人間らしい仕事を選択し得る国家資格を取得できる唯一無二の教育機関としての存在であると思います。

国土交通省のご指導のもと、わが国の明日を担う若者にとって、なくてはならない教育機関としての自動車大学校の確立に全力を傾注し、スマートシティにおける最も重要な教育機関となることを祈念し新しいスタートを切りたいと思います。

CONTENTS

2面	近年のドライブレコーダーについて
3面	クルマ大好き！・活躍!! 女子! 卒業生
4面・5面	アクセルとブレーキの踏み間違い事故の特徴と対策
6面・7面	協会トピックス・アイドルタイム・地区通信
8面	私の教材活用・お知らせ・編集後記